

## 授業科目

## 特別活動研究II

担当教員名 佐藤 裕紀	対象学年	3	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

## 授業の概要

本科目は、教職課程における教職に関する科目の「教育課程及び指導法に関する科目」に位置付けられる。本科目の目的は、受講者が、学校教育の教育課程の中における「特別活動」に関して、特別活動研究Iで学習した内容を踏まえ、より実践的な知識、内容を身に付けることを意図している。講義の形式としては、受講者自身に特別活動の取り組みを行ってもらい、望ましい話し合い活動の在り方や活動の進め方等を学習してもらう形式となる。そのため、受講者の講義への積極的な参加が期待される。

## 授業の目的

本講義は、以下の三点を目標とする。

1. 特別活動の意義を理解しその実践を経験すること
2. 特別活動の実践を経験し、その特徴と指導の在り方を考察すること
3. 自身で設計した指導計画、実践計画の実践と省察を行うサイクルを理解すること

## 学習目標

1. 特別活動、特に話し合い活動の実践手法について大まかに理解することができる。
2. 学校現場における特別活動の実践の現状と課題について理解することができる。
3. 教科指導や、総合的な学習といった他の教育課程と特別活動の関係性について大まかに説明することができる。
4. 特別活動の学習指導案を作成する際の留意点を大まかに理解することができる。
5. 学習指導案に基づいて特別活動の実践を行うことができる。
6. 自己と他者の特別活動の学習指導案や実践を客観的に考察、評価することができる。
7. 他者と共に協働で特別活動の指導案作成、実践を行うことができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	学級活動と学習指導案作成の留意点	講義、グループワーク	佐藤 裕紀
2	特別活動の現状と課題、学習指導案の作成	講義、グループワーク	佐藤 裕紀
3	特別活動における評価、学習指導案の作成	講義、グループワーク	佐藤 裕紀
4	プレゼンテーション	講義、グループワーク	佐藤 裕紀
5	特別活動の実践1	グループワーク	佐藤 裕紀
6	特別活動の実践2	グループワーク	佐藤 裕紀
7	特別活動の実践3	グループワーク	佐藤 裕紀
8	特別活動の指導上の特質とまとめ	講義、グループワーク	佐藤 裕紀

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	なし					
参考書	なし					
その他の資料	資料は適宜配布する					

## 評価方法

I. 平常点（活動への貢献、積極性含む）25%、II. 企画案、制作物の質・評価：25%、III. 期末レポート50%で評価する。

## 履修上の留意点

特別活動研究Iを踏まえての内容が多いため、履修者には特別活動研究Iを履修中か履修済みであることを求める。

## オフィスアワー・連絡先

連絡先：hiroki-sato@nuhw.ac.jp（佐藤裕紀 O516合同研究室）  
 オフィスアワー：第1、第3水曜日 昼休み